

## 西・南中学校区の小学校再編成に関するアンケート実施要領（案）について

### 1 アンケートの目的

羽生市立学校適正規模審議会（西・南中学校区）で協議されている小学校再編成に係る基本方針案の策定に当たり、児童の保護者のより具体的な意向を把握するとともに、中・高学年の児童に対し、同内容の意向について聴取し、今後の協議の参考とするために実施する。

### 2 アンケート対象者

- (1) 西・南中学校区内の小学校（7校）の児童の保護者
- (2) 西・南中学校区内の小学校（7校）の3年生から6年生までの児童

### 3 アンケート方法

- ・保護者については、小学校経由で二次元コードをメール配信し、アンケートフォームにアクセスしてもらい、回答していただく。
- ・児童については、学校において学習用パソコンからアンケートフォームにアクセスしてもらい、回答していただく。

### 4 アンケート項目

第8回会議で協議した基本方針案の（1）及び（5）をベースとして、保護者・児童の意向を確認するものとする。

- 【基本方針案】
- (1) 新郷第一小学校と岩瀬小学校を再編成する。  
新郷第二小学校は、岩瀬小学校、須影小学校と再編成する。
  - (5) 新郷第一小学校を小規模特認校として残す。  
新郷第二小学校は、岩瀬小学校、須影小学校と再編成する。

※小学校（7校）ごとに異なるアンケートフォームを使用する予定

### 5 実施期間

- ・実施メールの配信 令和6年9月中旬
- ・回答期限 令和6年9月30日（月）を目途とする。

### 6 結果の公表

市ホームページで公表する。

# 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針 小中学校適正規模・適正配置計画について

## 適正規模・適正配置の基本的な考え方

- 全小学校でクラス替えができる規模となるよう、再編成を行うこととします。
- 小中一貫教育を推進するとともに、将来的には中学校区とその学区内の小学校を再編成し、義務教育学校を設置することとします。
- 再編成の進捗にあわせ、過剰となった施設を廃止し、施設維持に係る財政的負担を軽減することとします。

## 適正規模・適正配置を進めるに当たっての留意点

- 再編成後の学校は、既存の学校の校舎を使用します。
- 再編成後の小学校は、通学距離が遠くなる地域にはスクールバスを導入し、中学校は徒歩か自転車での通学とします。
- 今回の小学校の再編成に当たっては、中学校区は変更しないこととしています。
- 閉校となる学校の歴史継承に努めます。
- 児童生徒の心のケアに努めます。
- 学校跡地は地域とともに活用を検討します。

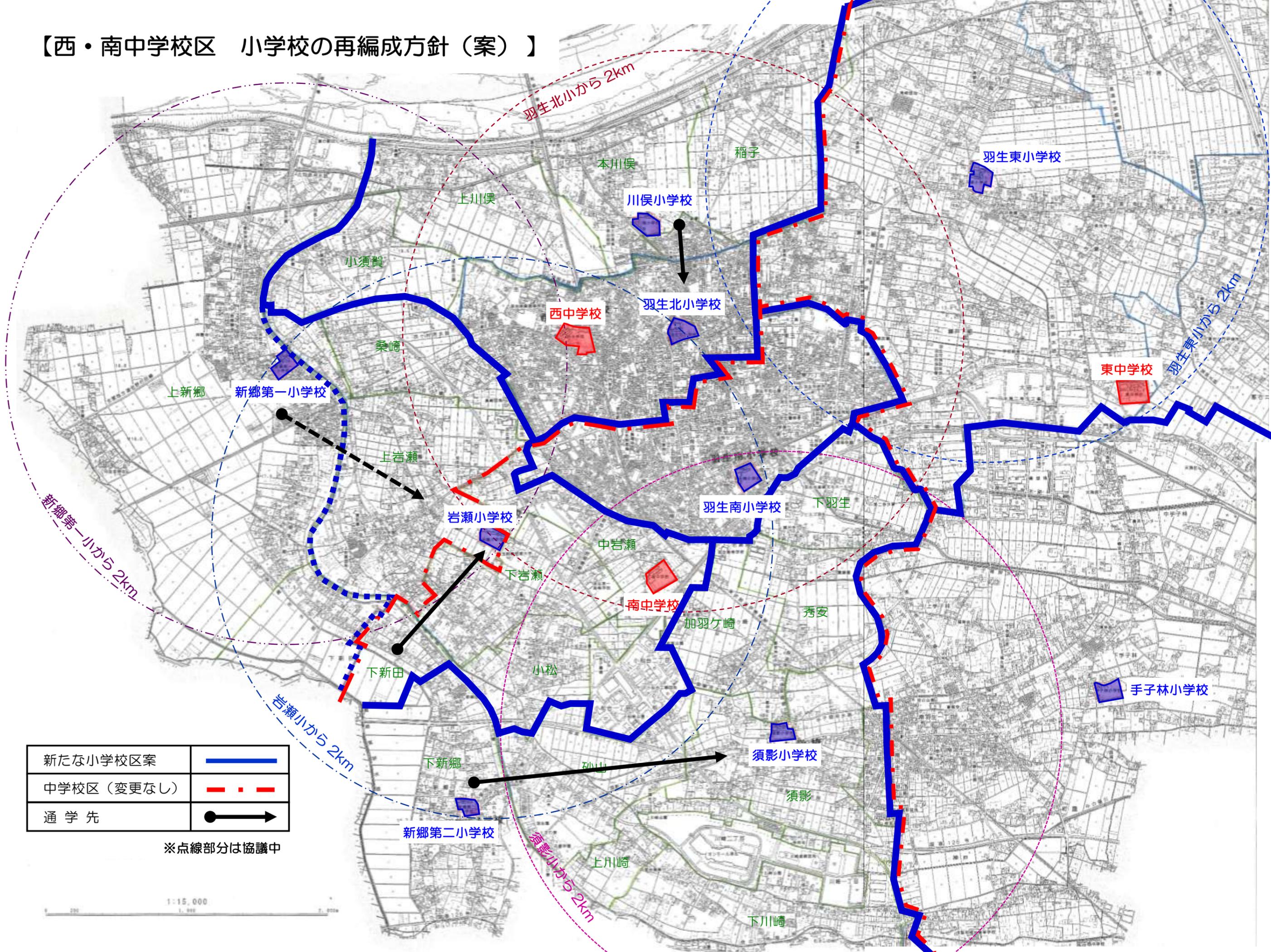
## 井泉小・三田ヶ谷小・村君小の再編成状況

- 東中学校のうち、井泉小、三田ヶ谷小、村君小は再編成し、令和7年4月に新たに羽生東小学校が開校します。（現在の井泉小学校校舎を使用）
- 井泉小の北袋地区在住の児童、三田ヶ谷小・村君小の児童を対象に、スクールバスを4台運行します。
- 3校の児童が再編成後も円滑な人間関係を構築できるようにすること及び児童の不安を解消することを目的に、各学年ごとに交流事業を実施しています。

## 児童生徒数の推移（見込み）

	昭和59年	令和6年	令和27年
小学生	4,933人	2,294人	1,955人（見込み）
中学生	2,326人	1,200人	1,037人（見込み）

# 【西・南中学校区 小学校の再編成方針（案）】



新たな小学校区案	
中学校区（変更なし）	
通学先	

※点線部分は協議中

1:15,000